



農村伝道神学校後援会だより NO. 109

『これは主の御業』

丸岡教会牧師 佐藤 徹

農村伝道神学校で学んだ4年間は、私にとって、良き学びと良き出会いが与えられた時でありました。その学びは机上のみならず、さまざまな課題を抱える現場にあって、それまで私が知らずにおり、また知ろうともせず、気が付きさえもしなかった問題に向き合うことになりました。それは、自分自身と向き合うことでもありました。また、豊かな自然の恵みにあふれる農場では、鍬やスコップを手にし、時にトラクターに乗り、土を作って種を蒔き、収穫の喜びを味わいました。収穫の恵みを得るまでには大変な労苦があり、忍耐を要することを知りました。

そうして卒業した2013年の春、伝道者として立てられた私に与えられた具体的な宣教の場は、福井県の丸岡教会でした。福井県坂井市丸岡町、丸岡城という古城のふもとにある小さな教会です。ここで生まれて、育て、一生をおくるといふ人たちがほとんどのこの町で伝道する。それがとても大変なものになるということは、すぐにわかりました。教会には幼稚園があり、私は園長と、学校法人の理事長も務めることになりました。

1915年創立の丸岡教会ですが、1958年以降の計35年にも及ぶ長い無牧期間や、その間にあった活動休止期間により、中部教区で唯一の再建教会に指定されていました。丸岡教会は、中部教区、福井地区諸教会のみなさんの祈りと支えによって歩んできたのです。私が着任した当初の丸岡教会は、私と、私の連れ合いを含めて4~5名ほどで毎週の礼拝を守っていました。説教者と奏楽者と献金当番者の3人で守った礼拝もあります。人数ではないとわかっていても、教会の将来を思えば思うほど、不安は拭えませんでした。

神学校時代、困ったことがあれば、近くにいる先生方や友人にすぐに相談することが出来ました。しかし、いま私がいるところは、誰も知る人のいない土地です。すぐに誰かを訪ねて行って相談することなど出来ません。それに、たとえ誰かに相談することが出来たとしても、最終的には私が決断しなくてはなりません。責任を担うということは、本当に孤独なこと。しかし、だからこそ、私の弱さに働きかける神が、私をここに運んだのでしょう。

そのように過ごして1年、ある日曜日の朝に、一人の青年が教会を訪ねてきました。高校時代に受洗され、福井県に転居してきたばかりというこの青年は、それから休むことなく丸岡教会の礼拝に出席し、2014年のクリスマスに転入。教会に大きな喜びの時が与えられました。また、2015年の教会創立100周年を前にして、教会には、自立の道への一步を踏み出そうという大きな決意が生まれました。再建教会として保障していただいていた教区のお支えの辞退を申し出たところ、自立が認められ、創



佐藤 徹牧師

立100周年を新たな気持ちで迎えることが出来ました。そして、2016年のクリスマス。教会に一人の受洗者が与えられました。ただただ神に感謝し、神の時を思い知らされています。

来年2018年には、幼稚園が創立100周年を迎えます。子どもたちが、小さなお友だちにひざをかかめて接している姿や、「せいしょをよみます・・・」と言って始まる子どもたち同士の「礼拝(ごっこ)」、あそびの最中にふとロザさむ讚美歌のメロディーを目や耳にするたび、キリスト教保育の大切さ、素晴らしさを実感しています。全国の園が子ども子育て支援新制度に揺れる中、現行制度の幼稚園ですが、毎年少しずつ入園希望者が増加しており、感謝の一言です。

また、地元の九条の会に関わる機会が与えられたり、幼稚園の事務全般を担う連れ合いが市の子ども子育て会議の委員になったり、教会に飾る花を持ってきてくれる方、釣りに誘ってくれる方など、町のみなさんが何気なく教会に足を運んでくれるようになり、これもまた感謝です。

私たちが散らされてゆく場所は、必ずしも自分が想像するような牧会現場ではなく、それどころか、まるで想像さえしなかった試練の出来事に次々と悩まされるものです。私たちはそのような状況に困惑し、とまどい、頭を悩ませ、時には涙することもあるかもしれませんが、しかし、私たちの知る由もないところで、けれども確かに、神の御業のご計画は進んでおり、私たちはその御業のために、苦難に耐え、労苦を惜しまず、ねばり強さを持って働かなくてはなりません。

悩みを抱える町の人たちが教会にやってきて、夜通し話していく。不安に駆られながら、悲しみにくれないながら、毎日を必死で踏ん張って生きる人々が、聖書の一節に癒されて明日を迎える。この町に、静かに、ゆっくりと、キリストが伝わっていくのを感じています。

農村伝道神学校で出会った先生方や友人たち、丸岡教会着任後に中部教区にて出会った農村伝道神学校の先輩方、また、出身教会のいずみ愛泉教会(東北)や神学生時代の所属教会である三鷹教会(西東京)のみなさん、中部教区と福井地区に連なるみなさん、ここに書き切れないほどにいらっしゃるみなさんの祈りに強められながら、丸岡教会と緑幼稚園という恵みにあふれる場を私に委ねてくださった神に心から感謝し、毎日を歩んでいます。



17年度イースター記念

キャンパス レポート

NO. 16

農伝の“キジ” 何処かへ転居しましたか？

野津田の里山、農伝のグラウンドの奥には四方を雑木林や竹林に囲まれた実習農場と、学校関係者への貸し農場があります。この農場が大好きで、毎日のように畑の手入れに来られる方が「最近キジを見ませんがどうしたんでしょうねー。」と顔を曇らせます。いつからかここに棲息しているキジが見当たらないようです。後援会事務局はその動向を調べました。

キジのことについては、2004年2月発行後援会だより56号の“キャンパスレポート”に、本後援会実務委員であった藤木正一さんの記事にこんな紹介があります。

『鬱蒼とした木立に囲まれた正門を入り、すぐ左の年経いた建物(旧校舎)を過ぎると、木漏れ日の中にグリーンチャペル(野外礼拝場=改修計画中)が迎えてくれる。左折して運動場の横をゆっくり下っていくと、桃源郷のような農場が広がっている。周りを自然林で囲まれ、つきあたりには孟宗竹林、さらに大きく左手に続く林間をたどると右手に栗の古木が生い茂る広大な栗林もある。秋には栗林や農場の真ん中にそびえる沢クルミの木、並木をなしているイチヨウの木などの下には、栗、クルミ、银杏などがバラバラと散り敷いている。春はツクシ、セリ、タケノコなど自然の恵みも豊である。

聖域には足音を立てずに静かに近づいてみよう。しばしば美しい日本キジの雄と出会う。』、、、との書き出しでキジの紹介があります。いつの頃からかうきわ寮(旧女子寮)裏の雑木林に居を構えているようで、人気の無くなった夕方など、悠然と農場を歩き、藪の茂みから子どもが出てきて採餌する姿を見掛けます。



[目撃情報からの想像画]

「ね！きみたち、キジをみたことある」、「うん、あるよキジさんがおどろくから、そ〜っとみようねって先生いったよ」、「みんな並んで歩いているの、見たよ！」、神学校保育で来ていたシオン幼稚園の子が小さな声でうれしそうに答えてくれました。

幼い目撃もあり、神学生、借り農場を利用する方など多くの皆さんより、目撃情報がありました。しかし最近(ここ1~2ヶ月)見っていないとのことで、転居も考えられました。

ネット情報からは、キジの転居習性、を記すものは無く寿命は10年ほどで、巣は継がれることもあると記載するものもある。繁殖期は4~7月。雌が抱卵し23~25日で孵化する。

等々の記載があり、やはり心機一転農場を越える楽園をみつけたのでしょうか。

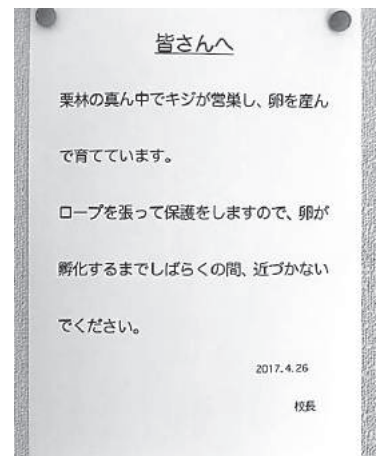
そう言えば近年、学校への人の往来が多くなり嬉しいことですが、キジにとっては少し居心地の悪い場所になったのでしょう。

何の情報も無く4月下旬となった頃、学校掲示板にキジのことで校長通達の掲示があるとの情報が入り、早速学校を訪ねました。

行方が分かりました、しかも今年も雛を孵しているようだということが判明しました。

早速栗畑を遠望できる場所へ、無事に孵化し、願わくはみんな成長し巣立って行きますよう祈りました。

[春は菜の花畑]



[学校掲示板の部分撮影]



[寮側から栗林を臨む]

キジにとってはやや騒がしくなった農場から、更なる楽園を求めた地が同じ農伝のこの場所であったことに安堵し、喜びを覚えます。

キジにとっての安住の場所がやはり農伝であり、今までと同じように出会えることでしょう。もうしばらくこの場の立ち入り禁止が続きますが声を潜めて待ちましょう。梅雨明けのまぶしい日差しの中、キジの親子が並んで散歩する姿に出会うかも知れません。どうぞ農伝へお出かけ下さい。

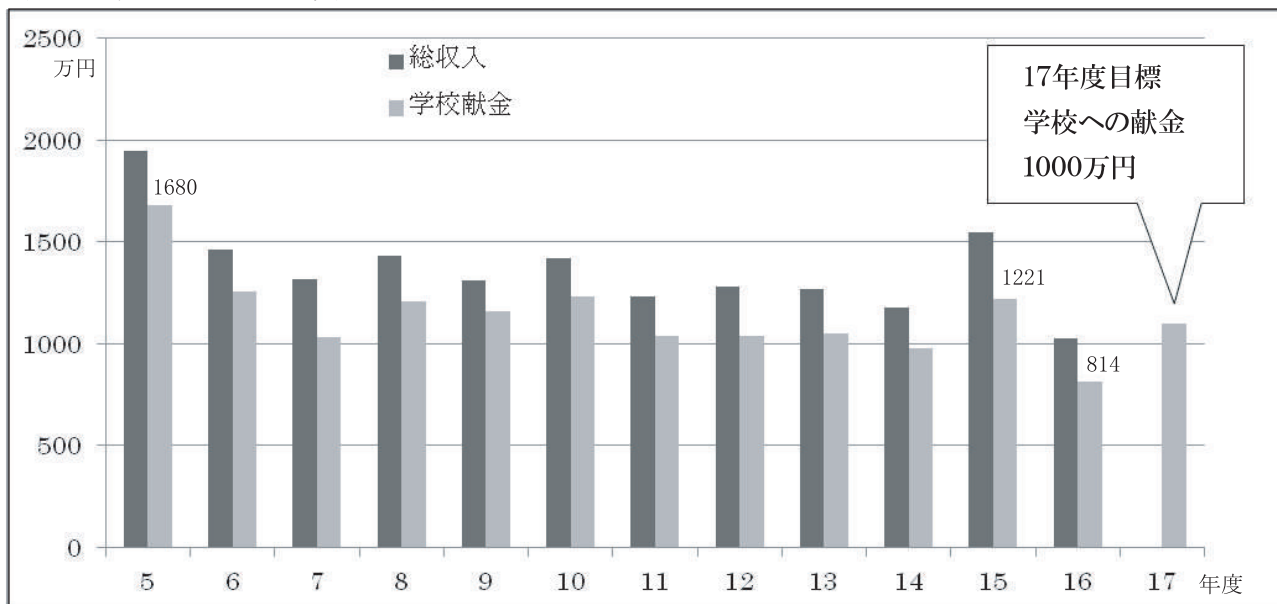


後援会献金状況の報告と17年度のお願い

[事務局より]

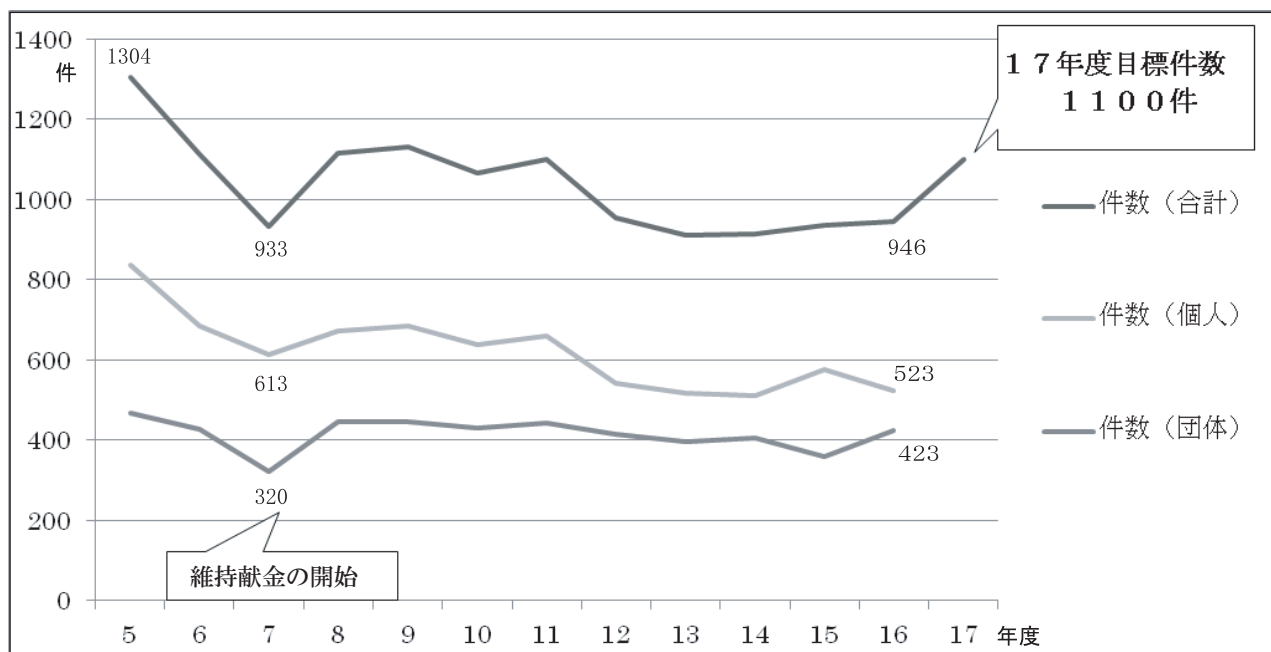
2016年度も、多くの皆様のお祈りとお支えによる尊い献金を、農村伝道神学校へ捧げました。(献金推移は下表、会計報告は4頁をご参照下さい) 残念ながら目標に対し大幅減となりましたが、神学校財政にとって大きな柱となることが出来たことをご報告し感謝申し上げます。後援会は、2017年度も神学教育の更なる充実を願い、計画を何としても支えて参りたいと存じ、「1000万円の献金を捧げる」目標と致しました。大変困難な目標ではありますが、どうぞ引き続きご支援下さいますよう、宜しくお願い致します。

献金推移と2017年度の目標



また、農村伝道神学校は多くの教会、諸団体、個人の皆様の献金によって支えられております。献金件数の輪が広がりますようお願いしています。教会、諸団体、個人の皆様の更なるお支えと、ご友人などへ農伝のご紹介を願い、多くの皆様のご支援によって後援会活動を進めて参りたいと存じます。ペンテコステ献金、神学校日献金、クリスマス献金、イースター献金、誕生日献金など記念日を覚えての献金をどうぞ宜しくお願い致します。

近年の献金件数推移と17年度の目標



2017年度 農村伝道神学校後援会会計報告

2017年3月1日～5月31日 () 内の数字は回数で、金額はその合計です。

後援会献金 (団体)	泉谷五十鈴 2,000	中山 和子 10,000	高座渋谷教会 5,000	岩間美佐子 3,000	三原 仁子 10,000
	伊藤 武子 35,000(2)	中山 昇 10,000	山谷兄弟の家伝道所	遠藤 勇 5,000	森下 義夫 10,000
石橋教会 5,000	伊藤 地塩 50,000	西村博美・保興子	3,000	樺澤 幸雄 3,000	渡辺 重義 10,000
岩槻教会 10,000	井上したふ 3,000	30,000(2)	信濃町教会ぶどうの会	川崎 トシ 5,000	和納由香理・卓弘 1,000
うぶと伝道所 3,000	岡本 克子 5,000	原田 和子 5,000	30,000	北脇 敏子 2,000	合計39件
岡山教会 10,000	郭 鏡洙 10,000	比企 敦子 5,000	下落合教会 2,000	木下 良子 5,000	金額 200,000
金沢八景教会 5,000	神吉 逸次 5,000	福澤 益代 5,000	下関西教会 10,000	吉良 保子 5,000	
希望ヶ丘教会 10,000	禿 準一 30,000	福島 一夫 10,000	西条栄光教会 5,000	小林利明・恒子 3,000	ひとつぶ献金
恵泉女学園 10,000	加山 真路 30,000	福本 光子 10,000	捜真女学校高等学部・捜	小柳 伸顕 3,000	生田教会 37,600
シオン幼稚園クローバー	河原田美哉子 5,000	増田陽一・一枝 30,000	真女学校中部 13,000	斉藤 幹代 5,000	石津教会 53,300
の会農伝支援バザー	小泉 晴子 3,000	松本眞理子 5,000	遠野教会 10,000	作道 英子 2,000	荻窪教会 88,800(2)
200,000	河野 通久 3,000	三上 節子 2,000	日本基督教団西東京教区	佐々木ちじゑ 1,000	お空の会 5,000
信濃教会聖和会 10,000	小手川 到 3,000	三木キン子 10,000	婦人委員会 10,000	佐々木迪淳 3,000	上大岡教会 17,000
玉手教会 20,000	五藤 民雄 10,000	見満かおる 5,000	広島南部教会 3,000	佐藤 研 10,000	軽井沢追分教会 22,400
鶴川シオン幼稚園卒業対	後藤美紀子 10,000(2)	守田 美恵 1,000	福岡女学院教会 5,000	佐藤 智子 5,000	川和教会 21,000
策委員会 15,065	佐々木和子・英之助	森野善右衛門 5,000	べウラ教会 10,000	志村真・日高伴子 10,000	杉並教会 9,200
東京山手教会 10,000	2,000	渡辺志津枝 43,800	むさし小山教会 5,000	関田 寛雄 10,000	千成 輝美 3,000
日進教会 5,000	佐々木喬敏 5,000	匿名1 1,000	明治学院教会 20,000	高島 昭子 2,000	真実留教会 25,200
東広島教会 5,000	佐竹 明 5,000	匿名2 5,000	明治学院中学校 東村山	丹波 菊井 10,000	鶴川北教会 45,400
暮張教会 15,000	佐藤 潤子 5,000	合計55件	高等学校 30,000	津村有紀子 5,000	日本基督教団出版局有志
松本筑摩野伝道所	三宮 千枝 3,000	金額 1,191,800	弓町本郷教会 5,000	土井 道子 3,000	4,700
4,000(2)	柴田 晴代 2,000		代々木上原教会 10,000	永田 直子 1,000	東梅田教会 39,800
水口教会 5,000	鈴木 栄 10,000	記念日他献金 (団体)	洛西教会 5,000	西村 佳子 5,000	日野台教会 22,600
八重山中央教会 30,000	高木 克祐 5,000	会津農村伝道センター	竜ヶ崎教会 26,000	野田 昭典 5,000	松本筑摩野伝道所 21,000
よきサマリヤ人伝道所	高森 重光 5,000	5,000	若松栄町教会 10,000	長谷川三和 4,000	まぶね教会 22,400(3)
20,000	滝澤佐和子 2,000	隠岐教会 3,000	稚内教会 5,000	服部 圭子 3,000	水元教会 11,200
林間つきみ野教会 5,000	竹村 倫子 30,000(3)	大船教会 5,000	合計29件	原 誠 5,000	横浜二ツ橋教会 19,650
合計21件	田中 準一 5,000	春日部教会 10,000	金額 271,000	平良 修 3,000	竜ヶ崎教会 24,400
金額 397,065	(NPO法人畑の家)	軽井沢追分教会 5,000	記念日他献金 (個人)	福澤 益代 5,000	合計22件
	田丸弘子 700,000	軽井沢南教会 1,000	秋保美保子 5,000	前地 洋美 5,000	金額 536,950
後援会献金 (個人)	辻井武志・嗣子 3,000	川和教会 10,000	伊藤 誠之 10,000	松本眞理子 5,000	
	徳永 五郎 5,000	希望ヶ丘教会 10,000		水谷信榮・スエ 10,000	
東 昌子 3,000	内藤美佐子 5,000				

*後援会だより前号(108号)にて報告致しました農伝支援コンサートでの東日本大震災被災者支援募金は *東北教区被災者支援センター・エマオ *会津放射能情報センター「放射能から子どものいのちを守る会・会津」 *学校法人アジア学院 アジア農村指導者養成専門学校へお送りしました。感謝しご報告致します。[事務局]

2016年度農村伝道神学校後援会会計報告

2016年4月1日～2017年3月31日

収入の部 (単位:円)					支出の部 (単位:円)		
費目	2016年度		前年度		費目	2016年度	前年度
	件数	金額	件数	金額			
後援会費 (団体)	68	1,233,231	57	1,492,100	神学校献金	8,140,000	12,215,000
〃 (個人)	269	1,547,396	284	6,598,300	通信費	409,181	472,597
記念日献金 (団体)	310	3,596,430	254	2,578,445	印刷費	582,797	602,930
〃 (個人)	254	1,909,684	292	2,728,680	事務費	634,094	375,174
ひとつぶ献金	45	1,215,850	48	1,629,450	グッズ材料費	26,619	19,874
グッズ他		185,650		183,200	その他	5,000	1,147,248
繰越金		567,272		291,074	振替手数料	95,294	101,154
繰越金		567,272		291,074	繰越金	362,528	567,272
合計	946	10,255,513	935	15,501,249	合計	10,255,513	15,501,249

2017年度後援会会計報告

2017年4月1日～5月31日現在

収入 (献金・他)					前年同期比 (%)
献金区分	2017年度(4月～5月)		前年度同期		
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
後援会費 (団体)	7	280000	8	462,066	121
〃 (個人)	32	1031800	30	215,000	21
記念日他献金 (団体)	8	86000	6	62,000	151
〃 (個人)	28	145000	29	327,700	266
ひとつぶ献金 (団体)	3	80700	3	112,200	92
グッズ		35300		12,300	83
合計	78	1,658,800	76	1,191,266	70

発行 農村伝道神学校後援会
 会長 島しづ子
 事務局長 古川力也
 〒195-0063 東京都町田市野津田町2024
 TEL 042-735-5775 FAX 042-735-5711
 E-メール: noden@pony.ocn.ne.jp
 ホームページ:
<http://www.noden.server-shared.com>
 振替番号 00120-6-24418